

令和2年国勢調査 人口移動集計

(移動人口の男女・年齢等集計及び移動人口の就業状態等集計)

結果の概要

-岡山市-

目次

1	5年前の常住地別人口	4
	(1)市の5年前の常住地別人口	4
	(2)行政区別の5年前の常住地別人口	7
2	現住居における居住期間	8
	(1)市の現住居における居住期間	8
	(2)行政区別の現住居における居住期間	9
3	年齢別移動人口	10
	(1)市の年齢別移動人口	10
	(2)行政区別の年齢別移動人口	13
4	転入・転出の状況	14
	(1)市の転入・転出の状況	14
	(2)行政区別の転入・転出の状況	19
5	5年前の常住地別外国人人口	20
6	移動人口の就業状態等	21

利用上の注意

- この「結果の概要」は、総務省統計局から公表された令和2年国勢調査「移動人口の男女・年齢等集計*」及び「移動人口の就業状態等集計*」の結果から岡山市に関する部分をまとめたものです。

*…全ての調査票を用いて、平成27年国勢調査時の常住地（5年前の常住地）と令和2年国勢調査時の常住地を比較することにより、人口の転出入状況について男女・年齢別、就業状態等について集計したものです。

- 数値の単位未満は四捨五入を原則としています。したがって、総数と内訳の合計とが一致しない場合があります。
- 表中の「-」は該当数字なし、「0」、「0.0」は単位未満、「△」は負値を表しています。
- 各種割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出しています。

なお、岡山市全体で86,279人が、「5年前の常住市区町村『不詳』」及び「移動状況『不詳』」として集計されていることにご留意ください。

用語の解説

- 人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時(令和2年10月1日)に調査の地域に常住している者による人口をいう。

- 5年前の常住地

5年前(平成27年10月1日)にふだん住んでいた場所をいい、次のとおり区分したものである。また、5歳未満の者については、出生後にふだん住んでいた場所による。

項目名	内容
常住者(現住地による人口)	当該地域に常住している者
現住所	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と同じ場所」の者
現住所以外(移動人口)	常住者のうち、5年前の常住地が「現在と同じ場所」以外の者
自市内から	常住者のうち、5年前の常住地が「同じ区の他の場所」の者及び21大都市の常住者のうち、5年前の常住地が「他の区・市町村」で、住んでいた場所が現在の常住地と同じ市内の他区の者
自区内から	21大都市の常住者のうち、5年前の常住地が「同じ区の他の場所」の者
自市内他区から	21大都市の常住者のうち、5年前の常住地が「他の区」で、住んでいた場所が現在の常住地と同じ市内の他区の者
県内他市町村から	常住者のうち、5年前の常住地が「他の市町村」で、住んでいた場所が現在の常住地と同じ都道府県内の他市町村の者
他県から	常住者のうち、5年前の常住地が「他の市町村」で、住んでいた場所が現在の常住地と別の都道府県の者
国外から	常住者のうち、5年前の常住地が「外国」の者
5年前の常住市区町村「不詳」	常住者のうち、5年前の常住地が「他の市町村」で、住んでいた場所(市区町村)が不詳の者
移動状況「不詳」	常住者のうち、5年前の常住地が不詳の者

注) 21大都市とは、東京都特別区部及び政令指定都市をいう。

- 転入者

5年前は当該地域以外に常住していたが、現在は当該地域に常住している者

例1)ある市への転入者は、上記区分のうち「県内他市町村から」、「他県から」又は「国外から」に該当する者

例2)ある区への転入者は、上記区分のうち「自市内他区から」、「県内他市町村から」、「他県から」又は「国外から」に該当する者

- 転出者

5年前は当該地域に常住していたが、現在は当該地域以外に常住している者

- 転入・転出超過数

転入者数から転出者数を差し引いた数

- その他の用語

『令和2年国勢調査 調査結果の利用案内-ユーザーズガイド-』を参照のこと。

《総務省統計局 HP》<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/sankou.html>

1 5年前の常住地別人口

(1)市の5年前の常住地別人口

人口の24.3%が5年間に住所を移動、市外から転入した者は10.6%

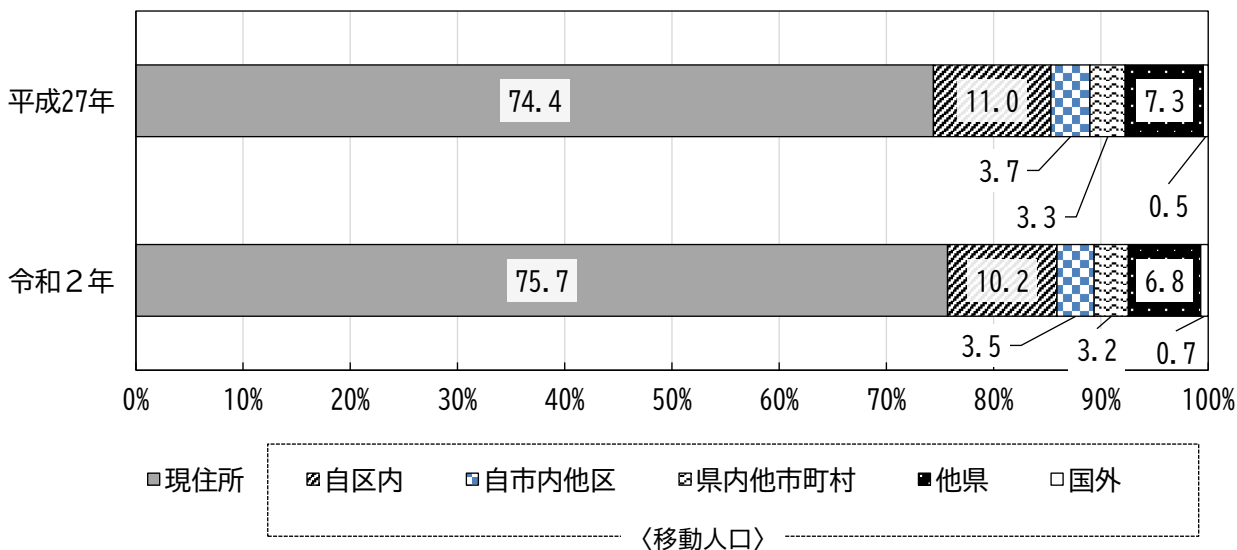
本市の総人口(常住者)を5年前に住んでいた場所(以下「5年前の常住地」)別にみると、5年前と同じ場所に住んでいる者(以下「現住所」)の割合は75.7%となっている。

一方、現住所以外に住んでいた移動人口(以下「移動人口」という)の割合は24.3%で、このうち「自区内」が10.2%で最も多く、次いで「他県」(6.8%)、「自市内他区」(3.5%)、「県内他市町村」(3.2%)、「国外」(0.7%)となっている。

これを、市内外で区分すると、市内で移動した者は13.7%、市外から転入した者は10.6%となっている。

平成27年と比べると、「移動人口」の割合は25.6%から24.3%へ1.3ポイント低下しており、このうち「自市内」が14.6%から13.7%へ0.9ポイント、「市外からの「転入」が11.0%から10.6%へ0.4ポイント低下している。市外では、「他県」は7.3%から6.8%へ0.5ポイント、「県内他市町村」は3.3%から3.2%へ0.1ポイント低下しているが、「国外」は0.5%から0.7%へ0.2ポイント増加している。【図1,表1】

図1 5年前の常住地別人口の割合 -岡山市(平成27年~令和2年)



「自区内」は女性の割合が高く、「他県」は男性の割合が高い

男女別に本市の移動人口をみると、男性は 75,872 人(25.1%)、女性は 79,394 人(23.6%)となっており、移動率は男性の方が高い。

5年前の常住地別にみると、「自区内」は女性が 10.6%で男性(9.8%)より 0.8 ポイント高いのに対し、「他県」は男性が 8.0%で女性(5.6%)より 2.4 ポイント高くなっている。【図2,表1】

図2 5年前の常住地、男女別人口の割合 -岡山市(令和2年)

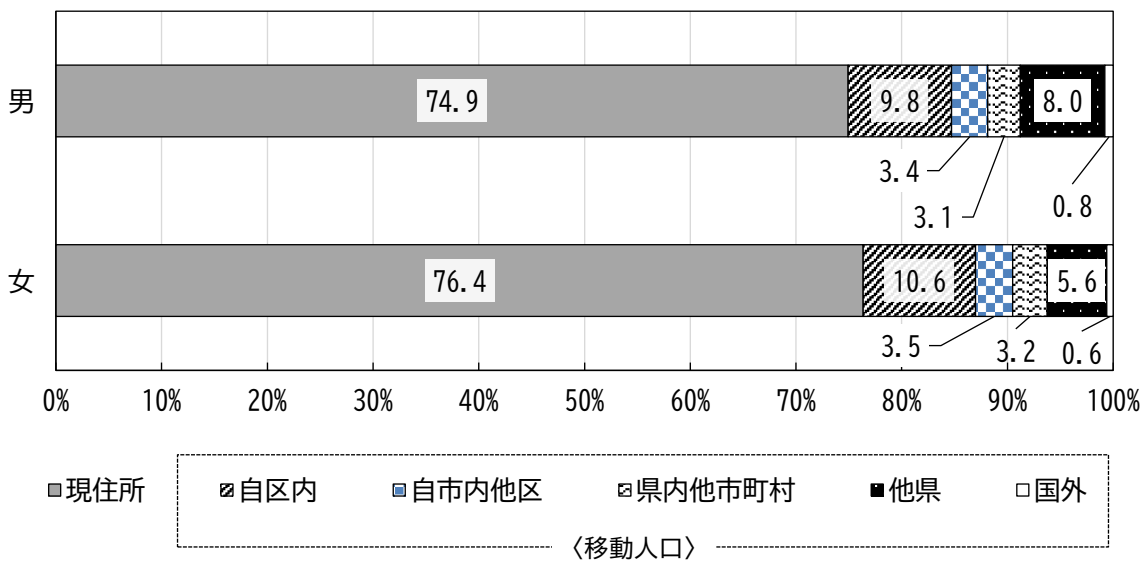


表1 5年前の常住地、男女別人口 -岡山市(平成27年~令和2年)

年次 男女	常住者 ¹⁾	5年前の常住地									5年前の 常住 市区町村 「不詳」	移動状況 「不詳」
		現住所	移動人口 総数	現住所以外(移動人口)			転入	県内他市町村 から	他県 から	国外 から		
				自市内	自区内	自市内 他区						
実 数 (人)												
令和2年												
総数	724,691	483,146	155,266	87,441	65,262	22,179	67,825	20,220	43,126	4,479	411	85,868
男	348,630	226,687	75,872	39,940	29,620	10,320	35,932	9,333	24,183	2,416	233	45,838
女	376,061	256,459	79,394	47,501	35,642	11,859	31,893	10,887	18,943	2,063	178	40,030
平成27年												
総数	719,474	497,190	171,347	97,712	73,237	24,475	73,635	21,966	48,521	3,148	252	50,685
男	345,913	233,985	83,877	45,210	33,827	11,383	38,667	9,972	27,203	1,492	121	27,930
女	373,561	263,205	87,470	52,502	39,410	13,092	34,968	11,994	21,318	1,656	131	22,755
割 合 (%)												
令和2年												
総数	100.0	75.7	24.3	13.7	10.2	3.5	10.6	3.2	6.8	0.7	-	-
男	100.0	74.9	25.1	13.2	9.8	3.4	11.9	3.1	8.0	0.8	-	-
女	100.0	76.4	23.6	14.1	10.6	3.5	9.5	3.2	5.6	0.6	-	-
平成27年												
総数	100.0	74.4	25.6	14.6	11.0	3.7	11.0	3.3	7.3	0.5	-	-
男	100.0	73.6	26.4	14.2	10.6	3.6	12.2	3.1	8.6	0.5	-	-
女	100.0	75.1	24.9	15.0	11.2	3.7	10.0	3.4	6.1	0.5	-	-

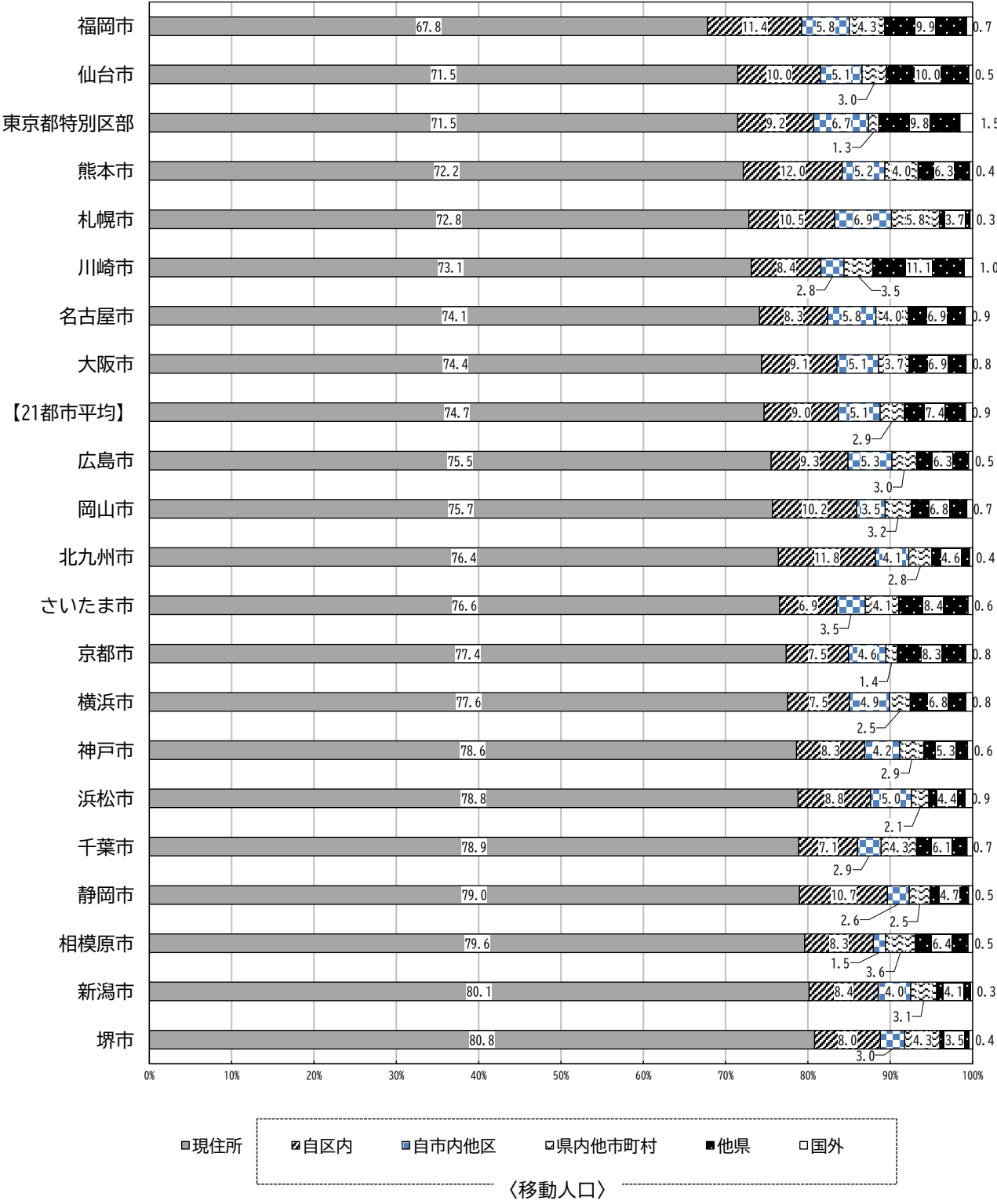
1) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を含む。

2) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を除いて算出。

21 大都市の中では、移動人口の割合は 10 番目

21 大都市（政令指定都市及び東京都特別区部）の中で比較すると、本市の移動率（24.3%）は 21 大都市の平均（25.3%）より 1.0 ポイント低く 10 番目となっている。【図 3】

図 3 21 大都市の 5 年前の常住地別人口の割合 - 政令指定都市及び東京都特別区部(令和 2 年)



(2) 行政区別の5年前の常住地別人口

移動人口の割合は、北区が28.9%で最も高い

行政区別に移動人口の割合をみると、北区が28.9%と最も高く、次いで中区(23.9%)、南区(19.9%)、東区(17.9%)となっている。

5年前の常住地別の割合では、「自区内」は北区が11.3%で最も高く、次いで中区(10.2%)、「自市内他区」は中区が5.1%で最も高く、次いで南区(3.7%)などとなっている。

市外からの転入では、「県内他市町村」は北区が3.6%で最も高く、次いで南区(2.9%)、「他県」も北区が10.4%で最も高く、次いで中区(5.4%)などとなっている。また、「国外」は東区が1.0%で最も高く、次いで北区(0.9%)などとなっている。【図4, 表2】

図4 行政区、5年前の常住地別人口の割合 - 行政区(令和2年)

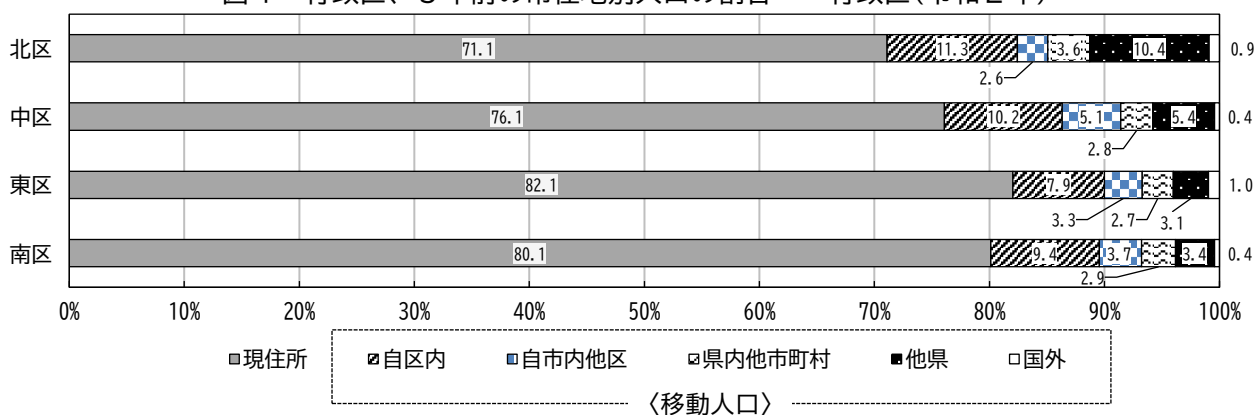


表2 行政区、5年前の常住地別人口 - 行政区(平成27年~令和2年)

年次行政区	常住者 ¹⁾	5年前の常住地									5年前の常住市区町村「不詳」	移動状況「不詳」
		現住所	移動人口総数	現住所以外(移動人口)			転入 ²⁾	転入先				
		実数(人)										
令和2年												
北区	314,523	194,433	79,048	38,244	31,023	7,221	40,804	9,915	28,449	2,440	84	40,958
中区	149,232	99,709	31,334	20,092	13,430	6,662	11,242	3,642	7,020	580	57	18,132
東区	93,108	69,510	15,206	9,512	6,729	2,783	5,694	2,289	2,592	813	197	8,195
南区	167,828	119,494	29,678	19,593	14,080	5,513	10,085	4,374	5,065	646	73	18,583
平成27年												
北区	309,484	195,841	85,776	42,125	34,110	8,015	43,651	10,536	31,068	2,047	142	27,725
中区	146,232	100,933	35,231	22,972	15,668	7,304	12,259	3,941	8,007	311	46	10,022
東区	95,577	75,916	16,829	10,607	7,537	3,070	6,222	2,608	3,186	428	17	2,815
南区	168,181	124,500	33,511	22,008	15,922	6,086	11,503	4,881	6,260	362	47	10,123
割合(%)												
令和2年												
北区	100.0	71.1	28.9	14.0	11.3	2.6	14.9	3.6	10.4	0.9	-	-
中区	100.0	76.1	23.9	15.3	10.2	5.1	8.6	2.8	5.4	0.4	-	-
東区	100.0	82.1	17.9	11.2	7.9	3.3	6.7	2.7	3.1	1.0	-	-
南区	100.0	80.1	19.9	13.1	9.4	3.7	6.8	2.9	3.4	0.4	-	-
平成27年												
北区	100.0	69.5	30.5	15.0	12.1	2.8	15.5	3.7	11.0	0.7	-	-
中区	100.0	74.1	25.9	16.9	11.5	5.4	9.0	2.9	5.9	0.2	-	-
東区	100.0	81.9	18.1	11.4	8.1	3.3	6.7	2.8	3.4	0.5	-	-
南区	100.0	78.8	21.2	13.9	10.1	3.9	7.3	3.1	4.0	0.2	-	-

1) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を含む。

2) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を除いて算出。

2 現住居における居住期間

(1)市の現住居における居住期間

出生時から現在の場所に住んでいる者の割合は11.2%、「20年以上」は31.7%

総人口を現在の場所での居住期間別にみると、出生時から現在の場所に住んでいる者は71,428人で、総人口の11.2%を占めている。男女別にみると、男性では13.6%が出生時から現在の場所に住んでいるが、女性では9.0%となっている。

一方、出生時に住んでいた場所とは異なる場所に住んでいる者では、現住居の居住期間が「20年以上」が202,711人(31.7%)と最も多く、次いで「1年以上5年未満」が121,055人(18.9%)などとなっている。男女別にみると、男女とも居住期間「20年以上」が最も多く、男性は86,803人(28.6%)、女性は115,908人(34.4%)で、女性の方が5.8ポイント高い。【図5、表3】

図5 居住期間(6区分)、男女別人口の割合 - 岡山市(令和2年)

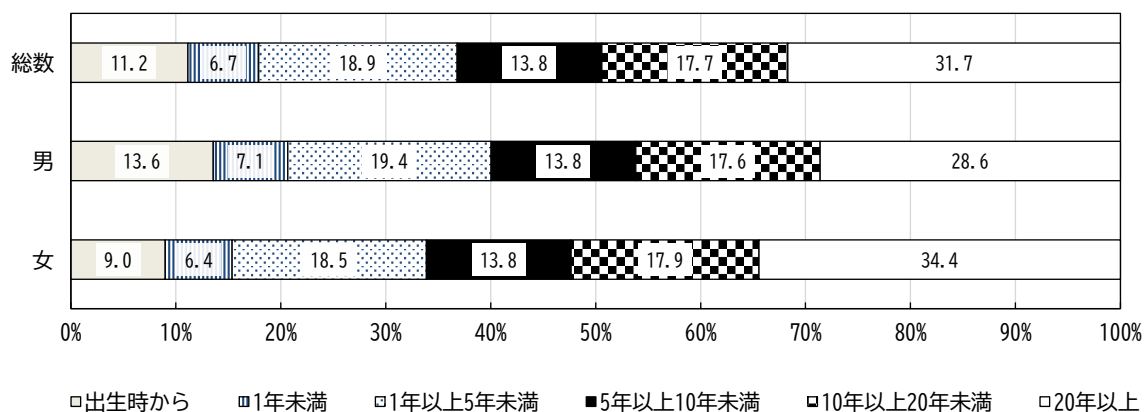


表3 居住期間(6区分)、男女別人口 - 岡山市(令和2年)

居住期間(6区分)	実数(人)			割合(%)		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	724,691	348,630	376,061	100.0	100.0	100.0
出生時から	71,428	41,140	30,288	11.2	13.6	9.0
1年未満	43,017	21,541	21,476	6.7	7.1	6.4
1年以上5年未満	121,055	58,763	62,292	18.9	19.4	18.5
5年以上10年未満	88,176	41,837	46,339	13.8	13.8	13.8
10年以上20年未満	113,543	53,246	60,297	17.7	17.6	17.9
20年以上	202,711	86,803	115,908	31.7	28.6	34.4
居住期間「不詳」	84,761	45,300	39,461	-	-	-

注)5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

(2) 行政区別の現住居における居住期間

出生時から現在の場所に住んでいる者の割合は東区が13.8%と最も高く、中区が9.6%と最も低い

居住期間別人口の割合を行政区別にみると、出生時から現在の場所に住んでいる者は東区が13.8%で最も高く、中区が9.6%で最も低くなっている。

出生時に住んでいた場所とは異なる場所に住んでいる者について、居住期間別にみると、いずれの行政区も「20年以上」が最も多いが、その割合は東区が39.6%で最も高く、北区が27.7%で最も低い。また、2番目に割合が高いのは、北区では「1年以上5年未満」(22.0%)であるのに対し、東区、南区では「10年以上20年未満」(東区16.5%、南区18.7%)となっている。中区では、「1年以上5年未満」と「10年以上20年未満」が同率(19.1%)で2番目に割合が高くなっている。

【図6,表4】

図6 行政区、居住期間(6区分)別人口の割合 - 行政区(令和2年)

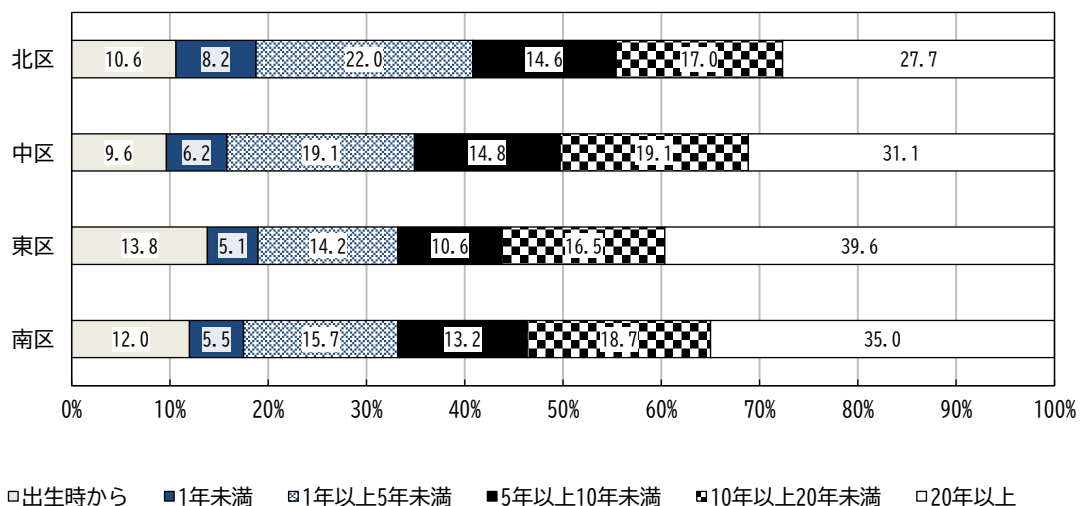


表4 行政区、居住期間(6区分)別人口 - 行政区(令和2年)

居住期間(6区分)	実数(人)				割合(%)			
	北区	中区	東区	南区	北区	中区	東区	南区
総数	314,523	149,232	93,108	167,828	100.0	100.0	100.0	100.0
出生時から	29,083	12,656	11,773	17,916	10.6	9.6	13.8	12.0
1年未満	22,347	8,114	4,377	8,179	8.2	6.2	5.1	5.5
1年以上5年未満	60,400	25,051	12,120	23,484	22.0	19.1	14.2	15.7
5年以上10年未満	40,014	19,485	9,038	19,639	14.6	14.8	10.6	13.2
10年以上20年未満	46,463	25,144	14,082	27,854	17.0	19.1	16.5	18.7
20年以上	75,792	40,916	33,760	52,243	27.7	31.1	39.6	35.0
居住期間「不詳」	40,424	17,866	7,958	18,513	-	-	-	-

注)5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

3 年齢別移動人口

(1)市の年齢別移動人口

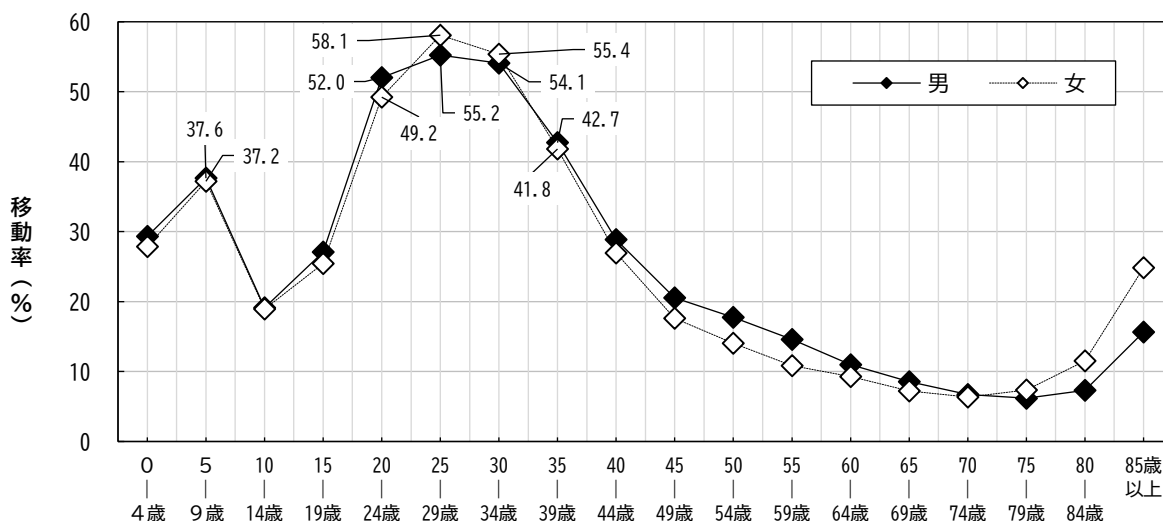
移動人口の割合は、25～29歳が56.7%と最も高い

年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合(以下「年齢別移動率」という)をみると、25～29歳が56.7%と最も高く、次いで30～34歳(54.7%)、20～24歳(50.6%)、35～39歳(42.3%)、5～9歳(37.4%)などとなっている。【表5：総数】

男女別にみても、男女とも25～29歳(男性55.2%、女性58.1%)が最も高く、次いで30～34歳(男性54.1%、女性55.4%)、20～24歳(男性52.0%、女性49.2%)、35～39歳(男性42.7%、女性41.8%)、5～9歳(男性37.6%、女性37.2%)などとなっている。

15歳以上の男女の年齢別移動率を比較すると、25～34歳と75歳以上では女性の方が高く、それ以外の年齢階級では男性の方が高い。【表5：男、女】

図7 男女、年齢(5歳階級)別移動率 -岡山市(令和2年)



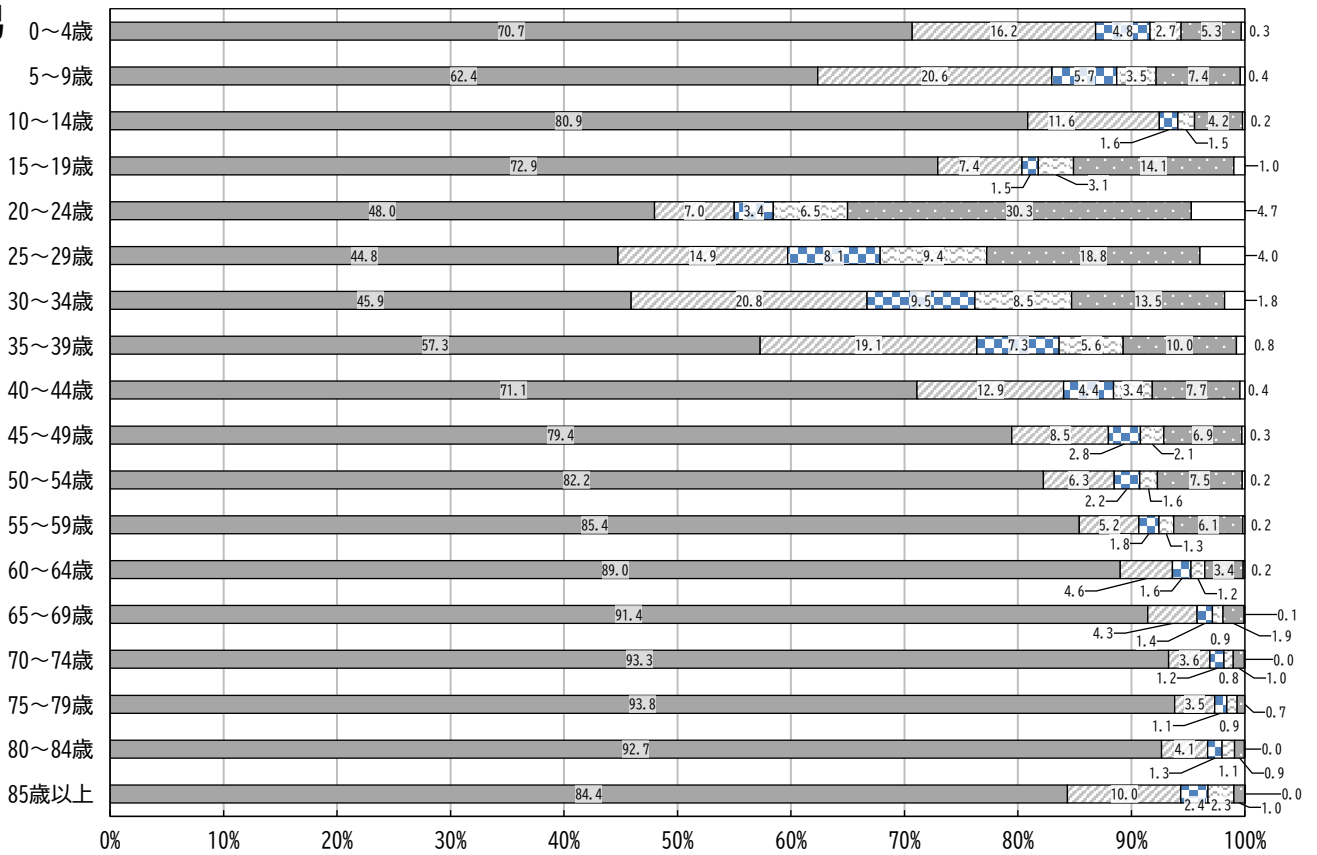
男性では15～29歳と50～59歳、女性では15～24歳で「他県」の移動人口の割合が最も高い

男女、年齢5歳階級別に5年前の常住地別移動人口の割合をみると、男性では15～29歳と50～59歳、女性では15～24歳で「他県」の割合が最も高いが、それ以外の年齢階級では「自区内」の割合が最も高くなっている。

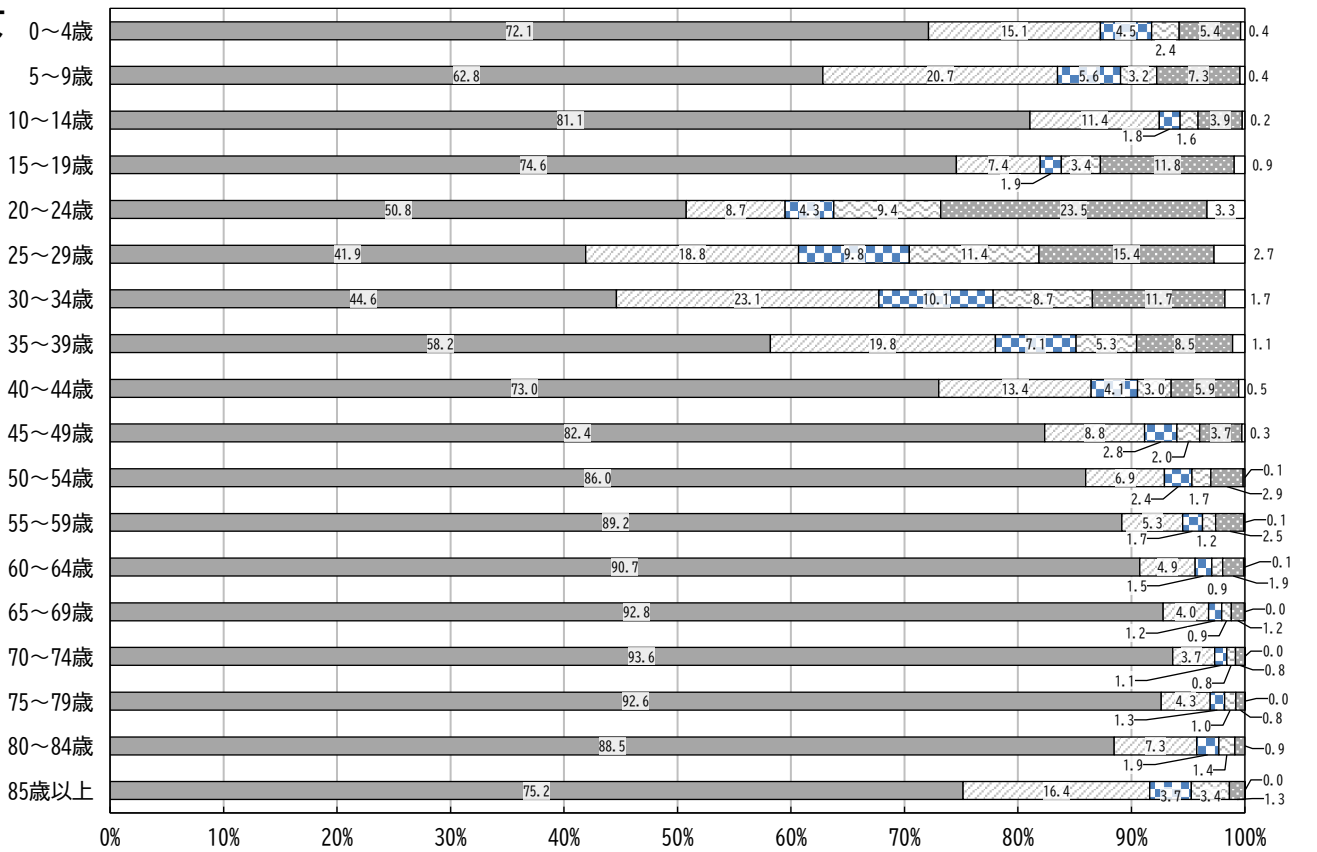
「他県」の割合は、男女ともに20～24歳が最も高く、男性は30.3%、女性は23.5%となっている。「自区内」の割合は、男女ともに30～34歳が最も高く、男性は20.8%、女性は23.1%となっている。【図8】

図8 男女、年齢(5歳階級)、5年前の常住地別人口の割合 -岡山市(令和2年)

男



女



現住所
 自区内
 自市内他区
 県内他市町村
 他県
 国外

 (移動人口)

表5 男女、年齢(5歳階級)、5年前の常住地別人口 -岡山市(令和2年)

男女、 年齢(5歳階級)	常住者 1)	5 年 前 の 常 住 地									5年前の 常住 市区町村 「不詳」	移動状況 「不詳」	移動率 (%) 2)	
		現住所	移動人口 総数	現 住 所 以 外 (移 動 人 口)			転入	県内 他市区町村から	他県から	国外から				
				市内内	自区内	市内内 他区								
				実 数 (人)										
総数 3)	724,691	483,146	155,266	87,441	65,262	22,179	67,825	20,220	43,126	4,479	411	85,868	24.3	
0~4歳 4)	28,886	18,138	7,267	5,162	3,976	1,186	2,105	656	1,361	88	13	3,468	28.6	
5~9歳	31,439	17,481	10,455	7,345	5,768	1,577	3,110	935	2,059	116	11	3,492	37.4	
10~14歳	32,431	23,451	5,511	3,827	3,327	500	1,684	440	1,179	65	4	3,465	19.0	
15~19歳	36,046	23,832	8,490	2,932	2,396	536	5,558	1,052	4,200	306	136	3,588	26.3	
20~24歳	40,479	17,138	17,573	4,071	2,730	1,341	13,502	2,770	9,330	1,402	42	5,726	50.6	
25~29歳	37,199	13,438	17,585	8,024	5,241	2,783	9,561	3,231	5,297	1,033	12	6,164	56.7	
30~34歳	38,168	14,896	18,023	10,466	7,240	3,226	7,557	2,844	4,132	581	18	5,231	54.7	
35~39歳	42,688	21,504	15,734	9,922	7,248	2,674	5,812	2,040	3,431	341	21	5,429	42.3	
40~44歳	47,728	30,539	11,821	7,378	5,581	1,797	4,443	1,345	2,892	206	16	5,352	27.9	
45~49歳	56,091	40,911	9,634	5,815	4,382	1,433	3,819	1,024	2,663	132	15	5,531	19.1	
50~54歳	45,793	35,116	6,600	3,734	2,759	975	2,866	671	2,119	76	13	4,064	15.8	
55~59歳	41,417	33,768	4,887	2,729	2,049	680	2,158	477	1,631	50	9	2,753	12.6	
60~64歳	39,176	33,370	3,744	2,339	1,764	575	1,405	398	964	43	12	2,050	10.1	
65~69歳	40,526	35,768	3,048	2,104	1,620	484	944	346	577	21	10	1,700	7.9	
70~74歳	48,052	43,200	3,014	2,222	1,693	529	792	369	414	9	19	1,819	6.5	
75~79歳	37,177	33,251	2,444	1,836	1,413	423	608	339	268	1	16	1,466	6.8	
80~84歳	26,383	22,694	2,470	1,921	1,501	420	549	326	220	3	13	1,206	9.8	
85歳以上	33,594	24,629	6,961	5,612	4,572	1,040	1,349	956	388	5	31	1,973	22.0	
男 3)	348,630	226,687	75,872	39,940	29,620	10,320	35,932	9,333	24,183	2,416	233	45,838	25.1	
0~4歳 4)	14,669	9,131	3,788	2,709	2,087	622	1,079	352	687	40	7	1,743	29.3	
5~9歳	16,177	8,968	5,414	3,789	2,965	824	1,625	502	1,064	59	6	1,789	37.6	
10~14歳	16,680	11,980	2,832	1,956	1,716	240	876	217	627	32	4	1,864	19.1	
15~19歳	18,414	11,996	4,453	1,461	1,222	239	2,992	508	2,327	157	102	1,863	27.1	
20~24歳	20,539	8,345	9,051	1,821	1,223	598	7,230	1,139	5,268	823	29	3,114	52.0	
25~29歳	18,598	6,802	8,390	3,508	2,270	1,238	4,882	1,425	2,854	603	6	3,400	55.2	
30~34歳	18,779	7,310	8,609	4,821	3,309	1,512	3,788	1,358	2,146	284	8	2,852	54.1	
35~39歳	21,129	10,419	7,769	4,793	3,473	1,320	2,976	1,024	1,815	137	10	2,931	42.7	
40~44歳	23,746	14,822	6,019	3,609	2,692	917	2,410	709	1,612	89	8	2,897	28.9	
45~49歳	27,812	19,657	5,085	2,808	2,110	698	2,277	508	1,707	62	7	3,063	20.6	
50~54歳	22,333	16,478	3,558	1,702	1,253	449	1,856	313	1,497	46	7	2,290	17.8	
55~59歳	20,231	15,880	2,712	1,305	976	329	1,407	240	1,134	33	3	1,636	14.6	
60~64歳	18,923	15,765	1,947	1,106	818	288	841	216	598	27	7	1,204	11.0	
65~69歳	19,476	16,897	1,582	1,053	803	250	529	173	343	13	5	992	8.6	
70~74歳	22,279	19,851	1,430	1,037	773	264	393	176	212	5	9	989	6.7	
75~79歳	16,356	14,756	974	724	554	170	250	140	110	-	5	621	6.2	
80~84歳	10,701	9,495	751	546	416	130	205	113	89	3	2	453	7.3	
85歳以上	10,195	8,123	1,505	1,192	960	232	313	219	92	2	8	559	15.6	
女 3)	376,061	256,459	79,394	47,501	35,642	11,859	31,893	10,887	18,943	2,063	178	40,030	23.6	
0~4歳 4)	14,217	9,007	3,479	2,453	1,889	564	1,026	304	674	48	6	1,725	27.9	
5~9歳	15,262	8,513	5,041	3,556	2,803	753	1,485	433	995	57	5	1,703	37.2	
10~14歳	15,751	11,471	2,679	1,871	1,611	260	808	223	552	33	-	1,601	18.9	
15~19歳	17,632	11,836	4,037	1,471	1,174	297	2,566	544	1,873	149	34	1,725	25.4	
20~24歳	19,940	8,793	8,522	2,250	1,507	743	6,272	1,631	4,062	579	13	2,612	49.2	
25~29歳	18,601	6,636	9,195	4,516	2,971	1,545	4,679	1,806	2,443	430	6	2,764	58.1	
30~34歳	19,389	7,586	9,414	5,645	3,931	1,714	3,769	1,486	1,986	297	10	2,379	55.4	
35~39歳	21,559	11,085	7,965	5,129	3,775	1,354	2,836	1,016	1,616	204	11	2,498	41.8	
40~44歳	23,982	15,717	5,802	3,769	2,889	880	2,033	636	1,280	117	8	2,455	27.0	
45~49歳	28,279	21,254	4,549	3,007	2,272	735	1,542	516	956	70	8	2,468	17.6	
50~54歳	23,460	18,638	3,042	2,032	1,506	526	1,010	358	622	30	6	1,774	14.0	
55~59歳	21,186	17,888	2,175	1,424	1,073	351	751	237	497	17	6	1,117	10.8	
60~64歳	20,253	17,605	1,797	1,233	946	287	564	182	366	16	5	846	9.3	
65~69歳	21,050	18,871	1,466	1,051	817	234	415	173	234	8	5	708	7.2	
70~74歳	25,773	23,349	1,584	1,185	920	265	399	193	202	4	10	830	6.4	
75~79歳	20,821	18,495	1,470	1,112	859	253	358	199	158	1	11	845	7.4	
80~84歳	15,682	13,199	1,719	1,375	1,085	290	344	213	131	-	11	753	11.5	
85歳以上	23,399	16,506	5,456	4,420	3,612	808	1,036	737	296	3	23	1,414	24.8	

1) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を含む。 2) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を除いて算出。

3) 総数には年齢「不詳」を含む。 4) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

(2) 行政区別の年齢別移動人口

北区は20～24歳、中区、南区は25～29歳、東区は30～34歳の移動率が最も高い

各行政区の年齢別移動率を比較すると、0～69歳、85歳以上は北区の移動率が最も高く、70歳～84歳では中区の移動率が最も高くなっている。

各行政区別に年齢別移動率をみると、北区では、20～24歳が62.9%で最も高く、次いで25～29歳(61.2%)、30～34歳(57.9%)などとなっている。中区では、25～29歳が57.9%で最も高く、次いで30～34歳(55.8%)、20～24歳(43.4%)などとなっている。東区では、30～34歳が47.2%で最も高く、次いで25～29歳(44.9%)、35～39歳(34.7%)などとなっている。南区では、25～29歳が52.1%で最も高く、次いで30～34歳(51.5%)、35～39歳(38.9%)などとなっている。【図9、表6】

図9 行政区、年齢(5歳階級)別移動率 - 行政区(令和2年)

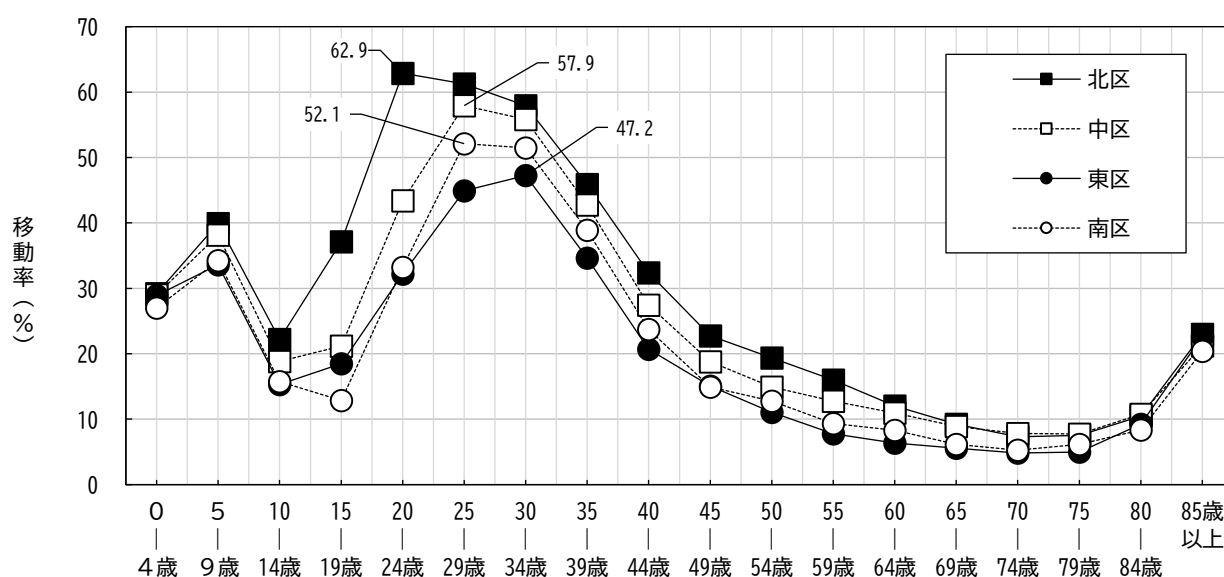


表6 行政区、年齢(5歳階級)別移動人口 - 岡山市、行政区(令和2年)

年齢(5歳階級)	岡山市			北区			中区			東区			南区		
	常住者 1) (人)	移動人口 (人)	移動率(%) 2)	常住者 1) (人)	移動人口 (人)	移動率(%) 2)	常住者 1) (人)	移動人口 (人)	移動率(%) 2)	常住者 1) (人)	移動人口 (人)	移動率(%) 2)	常住者 1) (人)	移動人口 (人)	移動率(%) 2)
総数 3)	724,691	155,266	24.3	314,523	79,048	28.9	149,232	31,334	23.9	93,108	15,206	17.9	167,828	29,678	19.9
0～4歳 4)	28,886	7,267	28.6	12,148	3,167	29.2	6,667	1,674	29.0	3,065	784	28.9	7,006	1,642	27.0
5～9歳	31,439	10,455	37.4	12,945	4,668	39.9	7,146	2,388	38.2	3,709	1,108	33.6	7,639	2,291	34.2
10～14歳	32,431	5,511	19.0	13,100	2,642	22.2	7,251	1,200	18.9	4,119	568	15.3	7,961	1,101	15.7
15～19歳	36,046	8,490	26.3	16,007	5,461	37.1	7,256	1,344	21.2	4,853	784	18.5	7,930	901	12.8
20～24歳	40,479	17,573	50.6	21,203	11,593	62.9	7,237	2,611	43.4	4,484	1,250	32.2	7,555	2,119	33.2
25～29歳	37,199	17,585	56.7	17,403	8,823	61.2	7,380	3,561	57.9	4,061	1,592	44.9	8,355	3,609	52.1
30～34歳	38,168	18,023	54.7	16,988	8,503	57.9	7,980	3,769	55.8	4,302	1,793	47.2	8,898	3,958	51.5
35～39歳	42,688	15,734	42.3	18,556	7,420	45.9	9,159	3,397	42.8	4,885	1,520	34.7	10,088	3,397	38.9
40～44歳	47,728	11,821	27.9	20,777	5,974	32.4	10,098	2,436	27.4	5,569	1,051	20.7	11,284	2,360	23.7
45～49歳	56,091	9,634	19.1	23,785	4,874	22.7	11,779	1,979	18.8	7,043	973	15.1	13,484	1,808	14.9
50～54歳	45,793	6,600	15.8	19,539	3,465	19.4	9,573	1,285	14.9	5,727	583	11.0	10,954	1,267	12.8
55～59歳	41,417	4,887	12.6	17,439	2,607	16.0	8,643	1,021	12.8	5,541	407	7.8	9,794	852	9.3
60～64歳	39,176	3,744	10.1	16,066	1,833	12.0	7,970	818	11.0	5,667	348	6.4	9,473	745	8.3
65～69歳	40,526	3,048	7.9	16,070	1,424	9.2	8,404	708	8.9	5,922	321	5.6	10,130	595	6.2
70～74歳	48,052	3,014	6.5	18,658	1,315	7.3	10,009	745	7.8	7,333	344	4.8	12,052	610	5.3
75～79歳	37,177	2,444	6.8	14,604	1,064	7.5	7,671	563	7.7	5,948	288	5.0	8,954	529	6.2
80～84歳	26,383	2,470	9.8	10,486	1,050	10.4	5,497	554	10.7	4,166	371	9.2	6,234	495	8.3
85歳以上	33,594	6,961	22.0	14,411	3,162	23.0	6,639	1,281	21.2	5,253	1,120	22.6	7,291	1,398	20.4

1) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を含む。

2) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を除いて算出。

3) 総数には年齢「不詳」を含む。

4) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

4 転入・転出の状況

(1)市の転入・転出の状況

2,706人の転入超過、うち県内他市町村が2,644人、他県が62人

5年前の常住地により本市の転入・転出者数をみると、転入者数は67,825人(うち国外4,479人)、転出者数は60,640人で、国外を除いた転入超過数は2,706人となっている。

転入超過数を5年前の定住地別にみると、「県内他市町村」が2,644人、「他県」が62人の転入超過となっており、「県内他市町村」が97.7%を占めている。

これを男女別に比較すると、男性は「県内他市町村」680人、「他県」578人の転入超過に対し、女性は「県内他市町村」が1,964人の転入超過となっている一方、「他県」は516人の転出超過となっている。

平成27年と比較すると、転入者数は5,810人減少、転出者数は485人増加しており、国外を除いた転入超過数は7,626人減少している。転入超過数の内訳について、「県内他市町村」は197人、「他県」は7,429人減少している。【表7】

表7 転入・転出者数の状況 -岡山市(平成27年~令和2年)

年次、性別	転入者数(人) a				転出者数(人) b			転入超過数(国外を除く)(人) a-b		
	総数	県内他市町村	他県	国外	総数	県内他市町村	他県	総数	県内他市町村	他県
実 数 (人)										
令和2年 A										
総数	67,825	20,220	43,126	4,479	60,640	17,576	43,064	2,706	2,644	62
男	35,932	9,333	24,183	2,416	32,258	8,653	23,605	1,258	680	578
女	31,893	10,887	18,943	2,063	28,382	8,923	19,459	1,448	1,964	△ 516
										(△は転出超過を表す)
平成27年 B										
総数	73,635	21,966	48,521	3,148	60,155	19,125	41,030	10,332	2,841	7,491
男	38,667	9,972	27,203	1,492	31,964	9,314	22,650	5,211	658	4,553
女	34,968	11,994	21,318	1,656	28,191	9,811	18,380	5,121	2,183	2,938
										(△は転出超過を表す)
増 減 数 (人) A-B										
総数	△ 5,810	△ 1,746	△ 5,395	1,331	485	△ 1,549	2,034	△ 7,626	△ 197	△ 7,429
男	△ 2,735	△ 639	△ 3,020	924	294	△ 661	955	△ 3,953	22	△ 3,975
女	△ 3,075	△ 1,107	△ 2,375	407	191	△ 888	1,079	△ 3,673	△ 219	△ 3,454

【他県】

広島県が転入、転出ともに最も多く、転入超過数は愛媛県が最も多い

都道府県別の転入・転出の状況をみると、転入者数は広島県が 6,424 人で最も多く、次いで兵庫県(4,431 人)、大阪府(3,711 人)、東京都(3,012 人)、香川県(2,571 人)などとなっている。

転出者数も広島県が 5,990 人で最も多く、次いで大阪府(4,603 人)、東京都(4,512 人)、兵庫県(4,155 人)、香川県(2,099 人)などとなっている。

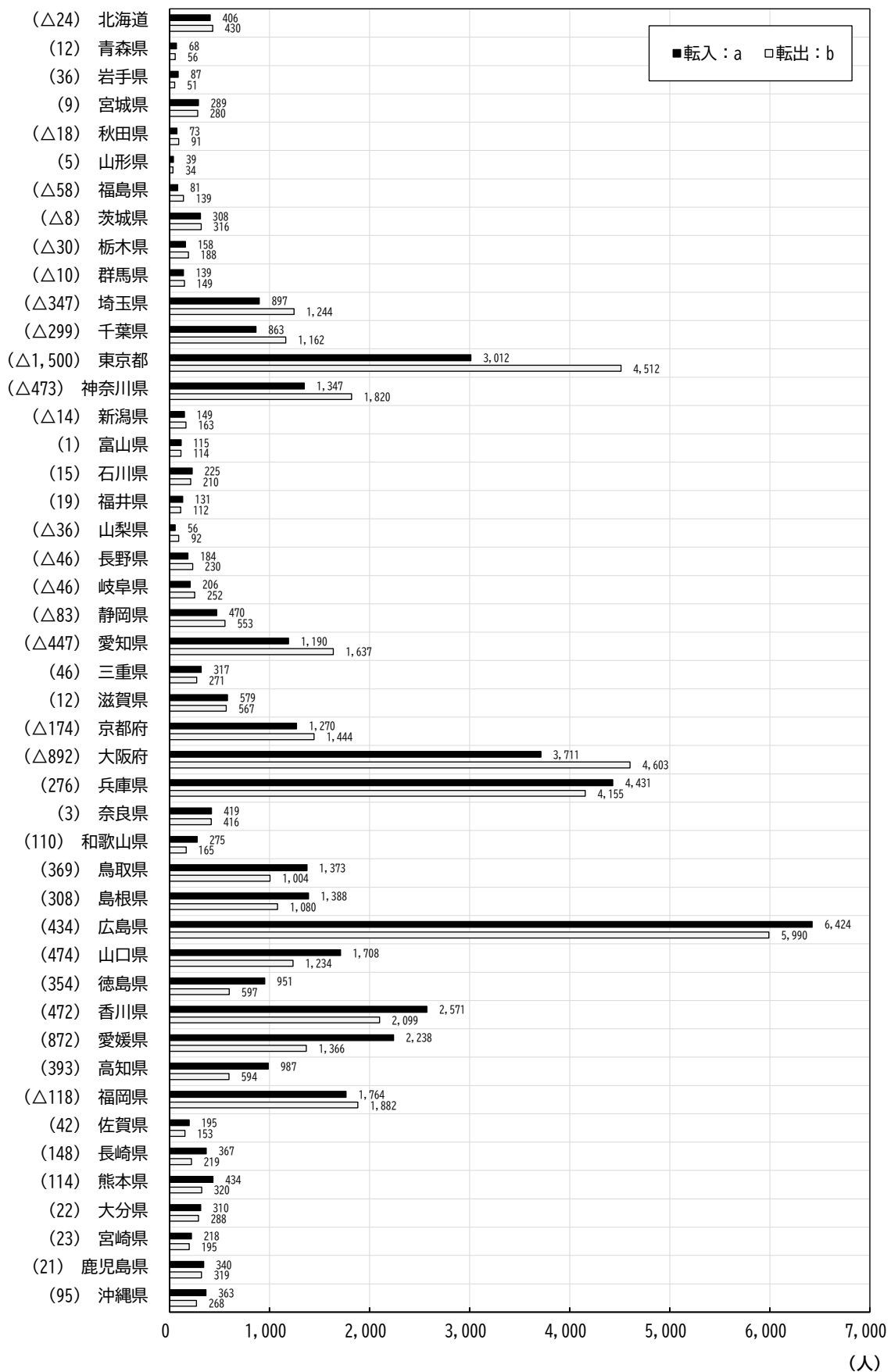
転出入超過数をみると 46 都道府県のうち 27 県に対しては転入超過、19 都道府県に対しては転出超過となっている。転入超過数は愛媛県が 872 人と最も多く、次いで山口県(474 人)、香川県(472 人)、広島県(434 人)、高知県(393 人)などとなっており、近県が多い。転出超過数は東京都が 1,500 人で最も多く、次いで大阪府(892 人)、神奈川県(473 人)、愛知県(447 人)、埼玉県(347 人)などとなっている。【表 8、図 10】

表 8 相手地域(都道府県)別転入・転出者数 -岡山市(令和 2 年)

県外地域 (都道府県)	岡山市			県外地域 (都道府県)	岡山市		
	転入者数(人) a	転出者数(人) b	転入超過(人) a-b		転入者数(人) a	転出者数(人) b	転入超過(人) a-b
北海道	406	430	△ 24	鳥取県	1,373	1,004	369
青森県	68	56	12	島根県	1,388	1,080	308
岩手県	87	51	36	広島県	6,424	5,990	434
宮城県	289	280	9	山口県	1,708	1,234	474
秋田県	73	91	△ 18	徳島県	951	597	354
山形県	39	34	5	香川県	2,571	2,099	472
福島県	81	139	△ 58	愛媛県	2,238	1,366	872
茨城県	308	316	△ 8	高知県	987	594	393
栃木県	158	188	△ 30	福岡県	1,764	1,882	△ 118
群馬県	139	149	△ 10	佐賀県	195	153	42
埼玉県	897	1,244	△ 347	長崎県	367	219	148
千葉県	863	1,162	△ 299	熊本県	434	320	114
東京都	3,012	4,512	△ 1,500	大分県	310	288	22
神奈川県	1,347	1,820	△ 473	宮崎県	218	195	23
新潟県	149	163	△ 14	鹿児島県	340	319	21
富山県	115	114	1	沖縄県	363	268	95
石川県	225	210	15				
福井県	131	112	19				
山梨県	56	92	△ 36				
長野県	184	230	△ 46				
岐阜県	206	252	△ 46				
静岡県	470	553	△ 83				
愛知県	1,190	1,637	△ 447				
三重県	317	271	46				
滋賀県	579	567	12				
京都府	1,270	1,444	△ 174				
大阪府	3,711	4,603	△ 892				
兵庫県	4,431	4,155	276				
奈良県	419	416	3				
和歌山県	275	165	110				

注) 転入超過の「△」は転出超過を表す

図10 相手地域(都道府県)別転入・転出者数 -岡山市(令和2年)



注: ()内の数値は転入超過数(=a-b)。()内が負値は転出超過を表す。

【県内他市町村】

転入、転出、転入超過のいずれも倉敷市が最も多く、転出超過は赤磐市が最も多い

県内市町村別の転入・転出の状況を見ると、転入者数は倉敷市が7,322人で最も多く、次いで玉野市(1,753人)、津山市(1,587人)、赤磐市(1,442人)、瀬戸内(1,230人)などとなっている。

転出者数も倉敷市が6,563人で最も多く、次いで赤磐市(2,011人)、総社市(1,386人)、瀬戸内市(1,370人)、津山市(1,166人)などとなっている。

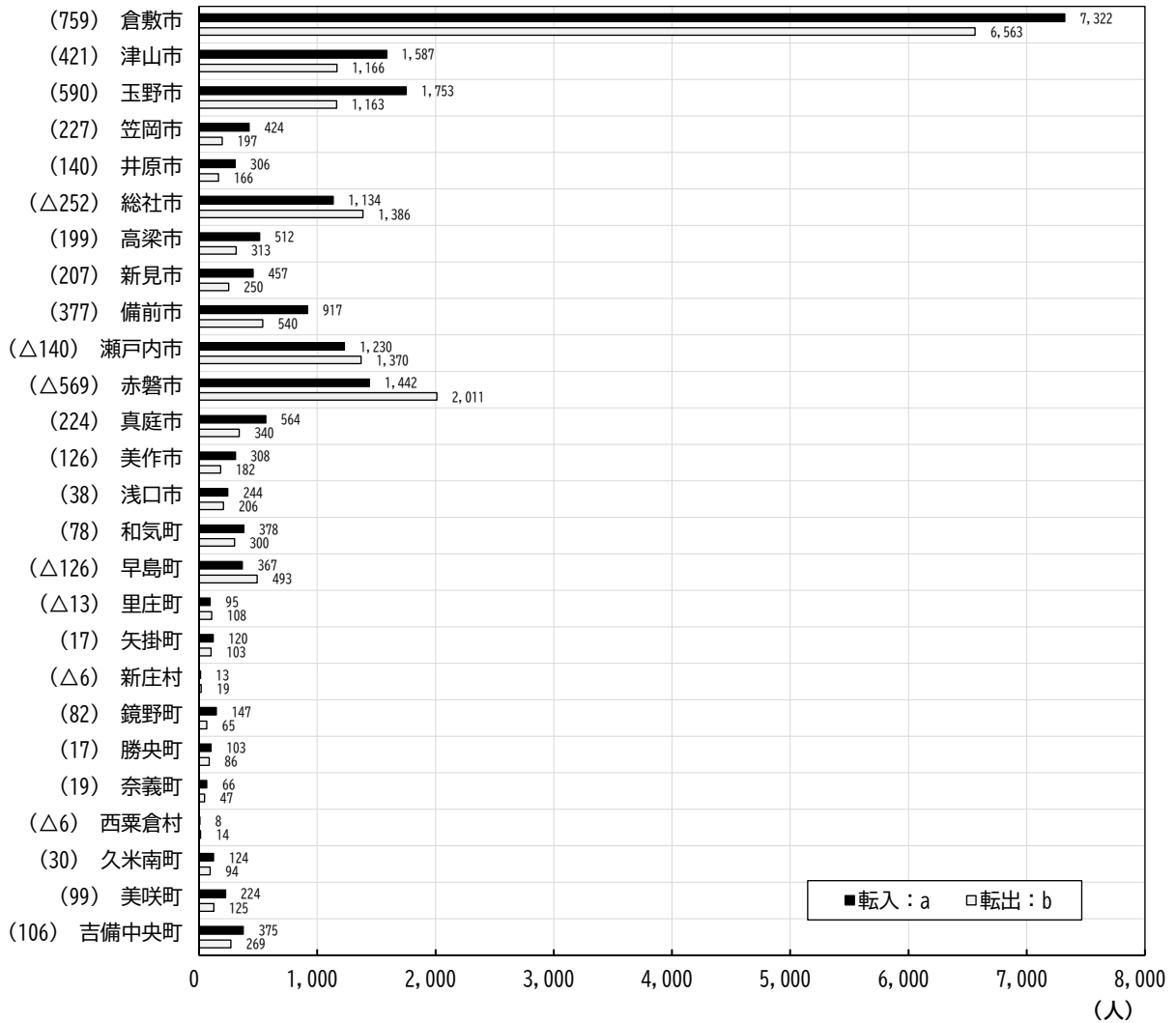
26市町村のうち19市町に対しては転入超過、7市町村に対しては転出超過となっている。転入超過数は倉敷市が759人と最も多く、次いで玉野市(590人)、津山市(421人)、備前市(377人)、笠岡市(227人)などとなっている。転出超過数は赤磐市が569人で最も多く、次いで総社市(252人)、瀬戸内市(140人)、早島町(126人)などとなっており、近隣市町が大半を占めている。【表9、図11】

表9 相手地域(県内他市町村)別転入・転出者数 - 岡山市(令和2年)

相手地域	岡山市		
	転入者数(人) a	転出者数(人) b	転入超過(人) a-b
倉敷市	7,322	6,563	759
津山市	1,587	1,166	421
玉野市	1,753	1,163	590
笠岡市	424	197	227
井原市	306	166	140
総社市	1,134	1,386	△ 252
高梁市	512	313	199
新見市	457	250	207
備前市	917	540	377
瀬戸内市	1,230	1,370	△ 140
赤磐市	1,442	2,011	△ 569
真庭市	564	340	224
美作市	308	182	126
浅口市	244	206	38
和気町	378	300	78
早島町	367	493	△ 126
里庄町	95	108	△ 13
矢掛町	120	103	17
新庄村	13	19	△ 6
鏡野町	147	65	82
勝央町	103	86	17
奈義町	66	47	19
西粟倉村	8	14	△ 6
久米南町	124	94	30
美咲町	224	125	99
吉備中央町	375	269	106

注) 転入超過の「△」は転出超過を表す

図 11 相手地域(県内他市町村)別転入・転出者数 ー岡山市(令和2年)



注：()内の数値は転入超過数(=a-b)。()内が負値は転出超過を表す。

(2) 行政区別の転入・転出の状況

北区 4,164 人、中区 1,182 人の転入超過、南区 1,740 人、東区 900 人の転出超過

区外からの転入者数を行政区別にみると、北区への転入者数が 48,025 人と最も多く、次いで中区(17,904 人)、南区(15,598 人)、東区(8,477 人)などとなっている。一方、転出者数については北区からの転出者数が 41,421 人と最も多く、次いで南区(16,692 人)、中区(16,142 人)、東区(8,564 人)となっている。

転入・転出超過数をみると、北区は 4,164 人、中区は 1,182 人の転入超過となっているが、南区は 1,740 人、東区は 900 人の転出超過となっている。

転入・転出超過数の状況を相手先別にみると、北区では「他県」が 2,757 人、次いで「県内他市町村」が 2,068 人の転入超過となっているが、「自市内他区」は 661 人の転出超過となっている。

中区では「自市内他区」(977 人)、「県内他市町村」(510 人)で転入超過となっているが、「他県」は 305 人の転出超過となっている。

東区では、「自市内他区」、「県内他市町村」、「他県」ともに転出超過で、「他県」(597 人)が最も多く、次いで「自市内他区」(211 人)、「県内他市町村」(92 人)となっている。

南区では、「県内他市町村」は 158 人の転入超過となっているものの、「他県」へ 1,793 人、「自市内他区」へ 105 人の転出超過となっている。

平成 27 年と比較すると、北区、中区では転入超過数が減少、東区と南区では転出超過数が増加している。【表 10】

表 10 行政区別転入・転出者数の状況 ー行政区(平成 27 年～令和 2 年)

年次、性別	転入者数(人) a					転出者数(人) b				転入超過数(国外を除く)(人) a-b			
	総数 1)	自市内他区	県内他市町村	他県	国外	総数 1)	自市内他区	県内他市町村	他県	総数 1)	自市内他区	県内他市町村	他県
実 数 (人)													
令和 2 年 A													
北区	48,025	7,221	9,915	28,449	2,440	41,421	7,882	7,847	25,692	4,164	△ 661	2,068	2,757
中区	17,904	6,662	3,642	7,020	580	16,142	5,685	3,132	7,325	1,182	977	510	△ 305
東区	8,477	2,783	2,289	2,592	813	8,564	2,994	2,381	3,189	△ 900	△ 211	△ 92	△ 597
南区	15,598	5,513	4,374	5,065	646	16,692	5,618	4,216	6,858	△ 1,740	△ 105	158	△ 1,793
													(△は転出超過を表す)
平成 27 年 B													
北区	51,666	8,015	10,536	31,068	2,047	40,817	8,709	8,625	23,483	8,802	△ 694	1,911	7,585
中区	19,563	7,304	3,941	8,007	311	16,750	6,143	3,294	7,313	2,502	1,161	647	694
東区	9,292	3,070	2,608	3,186	428	9,218	3,334	2,695	3,189	△ 354	△ 264	△ 87	△ 3
南区	17,589	6,086	4,881	6,260	362	17,845	6,289	4,511	7,045	△ 618	△ 203	370	△ 785
													(△は転出超過を表す)
増 減 数 A-B													
北区	△ 3,641	△ 794	△ 621	△ 2,619	393	604	△ 827	△ 778	2,209	△ 4,638	33	157	△ 4,828
中区	△ 1,659	△ 642	△ 299	△ 987	269	△ 608	△ 458	△ 162	12	△ 1,320	△ 184	△ 137	△ 999
東区	△ 815	△ 287	△ 319	△ 594	385	△ 654	△ 340	△ 314	-	△ 546	53	△ 5	△ 594
南区	△ 1,991	△ 573	△ 507	△ 1,195	284	△ 1,153	△ 671	△ 295	△ 187	△ 1,122	98	△ 212	△ 1,008

5 5年前の常住地別外国人人口

国外から岡山市へ移動した外国人の割合は、「ベトナム」が75.8%で最も高い

外国人人口(11,844人うち5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」3,182人)を5年前の常住地別にみると、移動人口は5,424人(外国人人口の62.6%)で、外国人人口の6割以上を占め、「現住所」は3,238人(37.4%)となっている。

国籍別に5年前の常住地をみると、「国外」から転入した者は「ベトナム」が1,631人で最も多く、次いで「中国」(1,107人)などとなっている。また「国外」から移動した者の割合は「ベトナム」が75.8%で最も高く、次いで「インドネシア」(71.8%)などとなっている。

「現住所」の割合は、「韓国・朝鮮」が74.0%で最も高く、次いで「フィリピン」(48.5%)となっている。【表11】

表11 国籍、5年前の常住地別外国人人口 - 岡山市(令和2年)

国籍	常住者 ¹⁾	5年前の常住地										5年前の常住市区町村「不詳」	移動状況「不詳」	
		現住所	移動人口総数	現住所以外(移動人口)			転入	県内他市町村から	他県から	国外から				
				自市内	自区内	自市内他区								
				実数(人)										
総数	11,844	3,238	5,424	1,141	871	270	4,283	129	428	3,726	6	3,176		
中国	3,659	954	1,785	521	403	118	1,264	51	106	1,107	3	917		
ベトナム	3,082	303	1,849	129	89	40	1,720	11	78	1,631	-	930		
韓国・朝鮮	2,125	1,228	432	251	192	59	181	33	100	48	3	462		
フィリピン	579	204	217	80	62	18	137	5	17	115	-	158		
ブラジル	430	111	227	32	27	5	195	3	54	138	-	92		
インドネシア	321	39	181	13	12	1	168	6	4	158	-	101		
ネパール	193	61	81	18	13	5	63	8	11	44	-	51		
その他 ³⁾	1,455	338	652	97	73	24	555	12	58	485	-	465		
				割合(%)										
総数	100.0	37.4	62.6	13.2	10.1	3.1	49.4	1.5	4.9	43.0	-	-		
中国	100.0	34.8	65.2	19.0	14.7	4.3	46.1	1.9	3.9	40.4	-	-		
ベトナム	100.0	14.1	85.9	6.0	4.1	1.9	79.9	0.5	3.6	75.8	-	-		
韓国・朝鮮	100.0	74.0	26.0	15.1	11.6	3.6	10.9	2.0	6.0	2.9	-	-		
フィリピン	100.0	48.5	51.5	19.0	14.7	4.3	32.5	1.2	4.0	27.3	-	-		
ブラジル	100.0	32.8	67.2	9.5	8.0	1.5	57.7	0.9	16.0	40.8	-	-		
インドネシア	100.0	17.7	82.3	5.9	5.5	0.5	76.4	2.7	1.8	71.8	-	-		
ネパール	100.0	43.0	57.0	12.7	9.2	3.5	44.4	5.6	7.7	31.0	-	-		
その他 ³⁾	100.0	34.1	65.9	9.8	7.4	2.4	56.1	1.2	5.9	49.0	-	-		

1) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を含む。

2) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を除いて算出。

3) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

6 移動人口の就業状態等

「就業者」における移動人口の割合は 27.1%

15 歳以上人口のうち、5 年前も現住所に住んでいた人は 424,054 人、現住所以外に住んでいた人（移動人口）は 132,028 人であった。

移動人口を労働力状態別にみると、移動が最も多かったのは「就業者」の 89,386 人で、次いで「その他」の 15,640 人であった。

さらに、労働力状態別に移動人口の割合をみると、「通学」が 30.0%で最も高く、次いで「就業者」の 27.1%、「完全失業者」の 25.7%となっている。

移動人口の割合を 5 年前の常住地別にみると、「通学」では他県の割合が 17.1%で最も高く、その他の常住地では自区内(6.4%)の割合が最も高い。【表 12】

表 12 労働力状態(5 区分)、5 年前の常住地別 15 歳以上人口 - 岡山市(令和 2 年)

労働力状態	常住者 1)	5 年 前 の 常 住 地									5年前の 常住 市区町村 「不詳」	移動状況 「不詳」
		現住所	移動人口 総数	現住所以外(移動人口)			転入	県内他市町村 から	他県 から	国外 から		
				自市内	自区内	自市内 他区						
実 数 (人)												
総数	610,517	424,054	132,028	71,105	52,189	18,916	60,923	18,188	38,526	4,209	383	54,052
労働力人口	344,503	250,205	92,902	49,821	35,814	14,007	43,081	13,165	26,675	3,241	103	1,293
就業者	330,721	240,018	89,386	48,034	34,525	13,509	41,352	12,723	25,458	3,171	98	1,219
完全失業者	13,782	10,187	3,516	1,787	1,289	498	1,729	442	1,217	70	5	74
非労働力人口	210,761	169,369	38,286	20,933	16,204	4,729	17,353	4,851	11,607	895	269	2,837
家事	74,501	62,288	12,046	6,517	4,808	1,709	5,529	1,492	3,838	199	20	147
通学	36,094	24,678	10,600	2,763	2,264	499	7,837	1,175	6,025	637	173	643
その他	100,166	82,403	15,640	11,653	9,132	2,521	3,987	2,184	1,744	59	76	2,047
労働力状態「不詳」	55,253	4,480	840	351	171	180	489	172	244	73	11	49,922
割 合 (%)												
総数	100.0	76.3	23.7	12.8	9.4	3.4	11.0	3.3	6.9	0.8	-	-
労働力人口	100.0	72.9	27.1	14.5	10.4	4.1	12.6	3.8	7.8	0.9	-	-
就業者	100.0	72.9	27.1	14.6	10.5	4.1	12.6	3.9	7.7	1.0	-	-
完全失業者	100.0	74.3	25.7	13.0	9.4	3.6	12.6	3.2	8.9	0.5	-	-
非労働力人口	100.0	81.6	18.4	10.1	7.8	2.3	8.4	2.3	5.6	0.4	-	-
家事	100.0	83.8	16.2	8.8	6.5	2.3	7.4	2.0	5.2	0.3	-	-
通学	100.0	70.0	30.0	7.8	6.4	1.4	22.2	3.3	17.1	1.8	-	-
その他	100.0	84.0	16.0	11.9	9.3	2.6	4.1	2.2	1.8	0.1	-	-
労働力状態「不詳」	100.0	84.2	15.8	6.6	3.2	3.4	9.2	3.2	4.6	1.4	-	-

1) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を含む。

2) 5年前の常住市区町村「不詳」及び移動状況「不詳」を除いて算出。

「宿泊業、飲食サービス業」(919人)、「卸売業、小売業」(821人)などは転入超過、

「製造業」(1,302人)などは転出超過

転入した15歳以上就業者41,352人を産業(大分類)別にみると、「卸売業、小売業」が7,317人で最も多く、次いで「製造業」(6,426人)、「医療、福祉」(5,632人)などとなっている。転出した15歳以上就業者(38,531人)では、「卸売業、小売業」が6,190人で最も多く、次いで「製造業」(6,163人)、「医療、福祉」(5,519人)などとなっている。

15歳以上就業者の転入超過数(国外からの転入を除く)を産業(大分類)別にみると、転入超過となっているのは、「宿泊業、飲食サービス業」(919人)、「卸売業、小売業」(821人)、「教育、学習支援業」(218人)、「金融業、保険業」(182人)などで、「製造業」(1,302人)、「公務」(462人)、「情報通信業」(448人)などは転出超過となっている。

主な産業について転入・転出超過数を相手地域別にみると、「宿泊業、飲食サービス業」は919人の転入超過数のうち「県内市町村」が245人、「他県」が674人で、「他県」が73.3%を占めているのに対し、「製造業」は1,302人の転出超過のうち「他県」が1,197人で91.9%を占めている。また「医療、福祉」は「県内他市町村」からは789人の転入超過となっているが、「他県」へは776人の転出超過となっている。

なお、「国外」から転入した就業者3,171人のうち、「製造業」が半数近い1,565人で最も多く、次いで「建設業」(363人)、「卸売業、小売業」(306人)、「宿泊業、飲食サービス業」(272人)などとなっている。【表13】

表13 産業(大分類)別転入・転出した15歳以上就業者 ー岡山市(令和2年)

産業(大分類)	転入者数(人) a				転出者数(人) b			転入超過数(国外を除く)(人) a-b		
	総数	県内他市町村	他県	国外	総数	県内他市町村	他県	総数	県内他市町村	他県
就業者	41,352	12,723	25,458	3,171	38,531	10,767	27,764	△ 350	1,956	△ 2,306
A 農業、林業	201	71	104	26	336	175	161	△ 161	△ 104	△ 57
うち農業	187	68	93	26	313	167	146	△ 152	△ 99	△ 53
B 漁業	7	3	2	2	21	8	13	△ 16	△ 5	△ 11
C 鉱業、採石業、砂利採取業	3	3	-	-	5	2	3	△ 2	1	△ 3
D 建設業	2,364	782	1,219	363	1,868	738	1,130	133	44	89
E 製造業	6,426	1,841	3,020	1,565	6,163	1,946	4,217	△ 1,302	△ 105	△ 1,197
F 電気・ガス・熱供給・水道業	203	70	133	-	239	88	151	△ 36	△ 18	△ 18
G 情報通信業	1,436	312	1,092	32	1,852	210	1,642	△ 448	102	△ 550
H 運輸業、郵便業	1,590	636	889	65	1,528	624	904	△ 3	12	△ 15
I 卸売業、小売業	7,317	1,882	5,129	306	6,190	1,478	4,712	821	404	417
J 金融業、保険業	1,659	321	1,332	6	1,471	207	1,264	182	114	68
K 不動産業、物品賃貸業	709	180	515	14	554	116	438	141	64	77
L 学術研究、専門・技術サービス業	1,354	320	1,005	29	1,731	269	1,462	△ 406	51	△ 457
M 宿泊業、飲食サービス業	3,314	627	2,415	272	2,123	382	1,741	919	245	674
N 生活関連サービス業、娯楽業	1,182	435	717	30	1,034	321	713	118	114	4
O 教育、学習支援業	3,010	878	1,971	161	2,631	745	1,886	218	133	85
P 医療、福祉	5,632	2,664	2,868	100	5,519	1,875	3,644	13	789	△ 776
Q 複合サービス事業	123	72	51	-	144	78	66	△ 21	△ 6	△ 15
R サービス業(他に分類されないもの)	1,985	603	1,289	93	1,907	504	1,403	△ 15	99	△ 114
S 公務(他に分類されるものを除く)	2,188	851	1,319	18	2,632	852	1,780	△ 462	△ 1	△ 461
T 分類不能の産業	649	172	388	89	583	149	434	△ 23	23	△ 46

注) 転入超過の「△」は転出超過を表す